# 令和元年度第3回常磐公園の緑を考える集い　開催結果

日時　　：　令和元年 8 月 23 日（金）10:00～20:00
会場　　：　常磐公園
出席者　　：　市内在住の市民　6 名
　　旭川市土木部公園みどり課　　3 名
　　旭川市公園緑地協会　　1 名
配付資料　　：　説明資料（当日配布）

## Ⅰ　開催内容

1　開会
2　ブッシュゾーンの観測
3　自然更新ゾーンの実生確認・移植位置検討
4　閉会

## Ⅱ　会議録

別紙のとおり

# 点 検 記 録 簿

令和元年8月23日10:00～　調査

## ブッシュの観測について

今回は配布した資料をもとにカンタンの由来や生態を確認した後、ブッシュゾーンにてカンタン棲息の確認を試みましたが、最近の急な気温の低下もあってか残念ながらカンタンを確認することはできませんでした。

その他の結果としましては次のとおりです。

・昨年移植したヨモギの繁茂を確認しました。
・ヨコバイ（カメムシ目、イネ科植物の害虫）を多数確認しました。
・水辺が近いからか、イトトンボを数匹確認しました。
・ニセアカシア、オオアワダチゾウやエゾノギシギシといった外来の草木を確認しました。
　これらは公園管理のなかで除去対策を行います。
・クルミ、ヤマグワ、セリといった在来の草木を確認しました。

ブッシュゾーンの観測は来年度以降も引き続き行っていきたいと考えております。

ブッシュの観測のようす

生長した実生

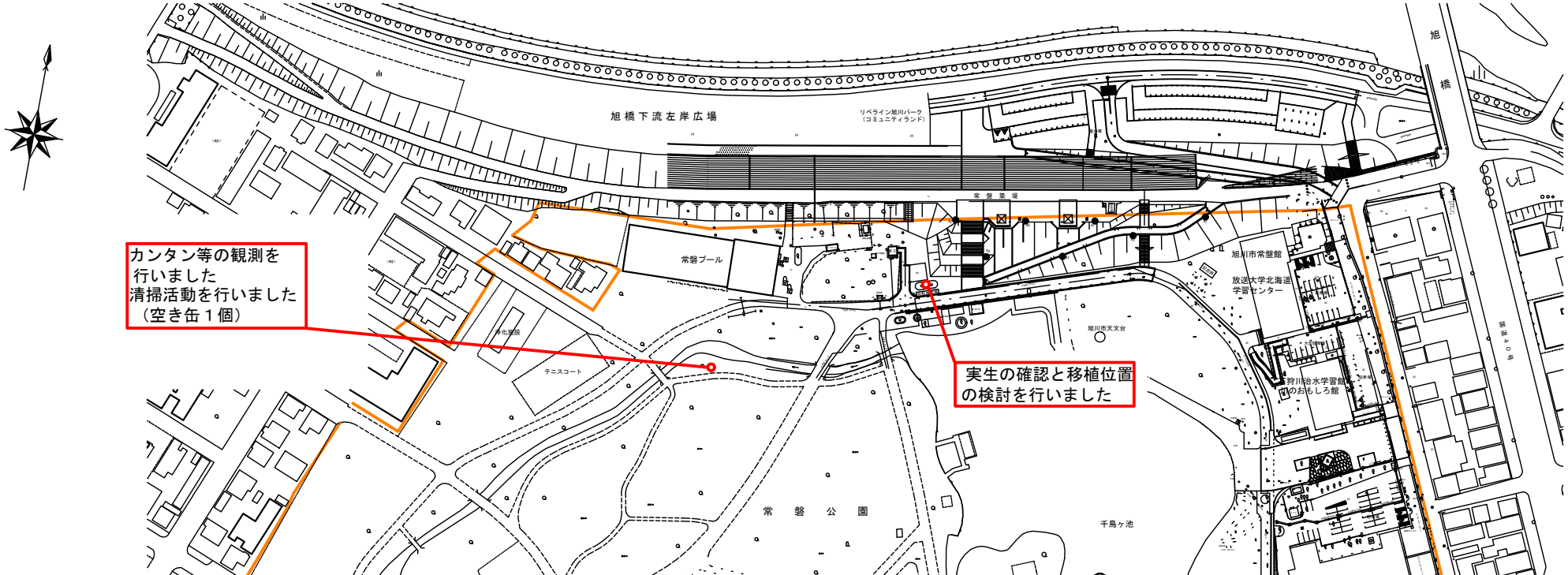
## 自然更新ゾーンの実生について

自然更新ゾーンの実生について育生状況等を確認し、これらの実生の今後の取り扱いについて検討いたしました。検討結果は次のとおりです。

・特に生長しているハルニレ（樹高約1.5m）とドロノキ（樹高約2.0m）については移植できることを確認しました。
・これらの実生については公園内の適切な位置に移植し、空いたスペースで新たな実生の発生を図ります。
・新たな実生を期待するため下草の除草が必要では。
・移植先については枯損した既存シラカバの更新木とします。同じ早生樹種であり、この位置（別図参照）であれば自身も周囲も被圧を受けない。
・移植の時期は次回の「常磐公園の緑を考える集い（10月下旬開催予定）」とします。

## その他いただいた御意見等

・緩傾斜化区域にあるイチョウ（メイン階段そば）の枝先が枯れている。これは元気な部分にも影響があるので剪定して欲しい。
→（旭川市）可能な限り剪定を行います。

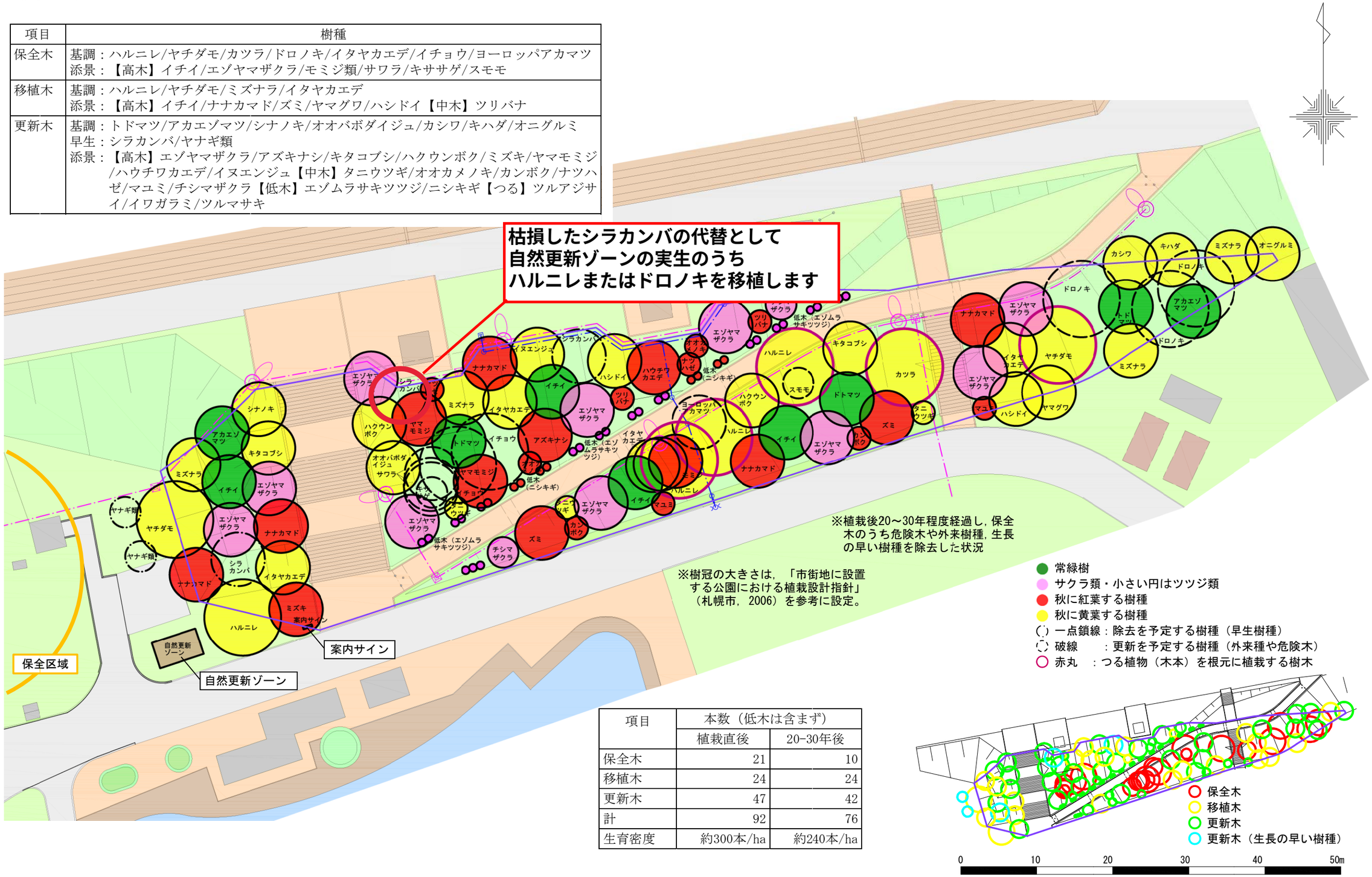


# 自然更新ゾーンの実生の移植位置について

**※常磐公園植栽計画（平成27年度策定）より抜粋**

(4)　植栽平面図

| 項目 | 樹種 |
|---|---|
| 保全木 | 基調：ハルニレ/ヤチダモ/カツラ/ドロノキ/イタヤカエデ/イチョウ/ヨーロッパアカマツ<br>添景：【高木】イチイ/エゾヤマザクラ/モミジ類/サワラ/キササゲ/スモモ |
| 移植木 | 基調：ハルニレ/ヤチダモ/ミズナラ/イタヤカエデ<br>添景：【高木】イチイ/ナナカマド/ズミ/ヤマグワ/ハシドイ【中木】ツリバナ |
| 更新木 | 基調：トドマツ/アカエゾマツ/シナノキ/オオバボダイジュ/カシワ/キハダ/オニグルミ<br>早生：シラカンバ/ヤナギ類<br>添景：【高木】エゾヤマザクラ/アズキナシ/キタコブシ/ハクウンボク/ミズキ/ヤマモミジ/ハウチワカエデ/イヌエンジュ【中木】タニウツギ/オオカメノキ/カンボク/ナツハゼ/マユミ/チシマザクラ【低木】エゾムラサキツツジ/ニシキギ【つる】ツルアジサイ/イワガラミ/ツルマサキ |




| 項目 | 本数（低木は含まず） | |
|---|---|---|
| | 植栽直後 | 20-30年後 |
| 保全木 | 21 | 10 |
| 移植木 | 24 | 24 |
| 更新木 | 47 | 42 |
| 計 | 92 | 76 |
| 生育密度 | 約300本/ha | 約240本/ha |

図 12　植栽平面図